

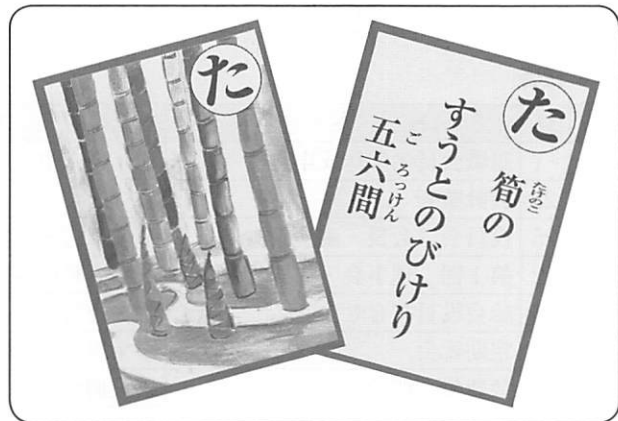
# 松山市教育会情報

発行所 松山市教育会  
松山市祝谷町1-5-33  
☎ 089-933-0354  
発行者 清水昇  
編集 調査研究部

## 魅力ある教育会に



会 長  
清 水 昇



「子規さん俳句かるた」より

松山市教育委員会 編  
松山市立子規記念博物館 監修

私は8年前の平成22年度、現職の時に松山市教育会の副会長をさせていただいたことがあります。このたび、高橋 猛前会長さんのあと、縁あって松山市教育会のお世話をさせていただくことになりました。微力ではありますが、副会長さんや専門部長さん、理事及び支部長さん、事務局の皆さんと協力しながら、定期総会で承認された年間の事業を行っていきたくと思います。どうぞよろしくお願いたします。

本会の目的は会則第3条にありますように、会員相互の親和提携をはかり、教育に関する調査研究及び会員の研修を行い、松山市教育の進展に寄与することです。

毎年8月に行われる支部総会やブロックのスポーツ大会に私も参加させていただいておりましたが、地域に住む会員が集まり親睦を深める活動はいろいろな情報が飛び交い、とても有意義なものです。支部長さんが厚意で届けてくださる「教育会情報」や「文教月報」は、毎回楽しみにしておりました。情報誌の内容を拝見すると、同好グループの活動や各ブロック・支部での特色ある活動、教育研修活動など多岐に渡る内容で、会員の生涯学習や生きがいつくりとして素晴らしいと思っていました。

学校現場は現在、働き方改革が叫ばれる中、いろいろな施策がすでに具体的に始まっていると聞いています。一方、今年度から新学習指導要領の移行期に入り、道徳の特別教科化（小：30年度、中：31年度）や小学校外国語教育が新たに動き始めています。直面する課題は多く、このような学校現場の現状を考えると、現職の皆さんにとっては教育会の行事はOBにお願いしたいというのが本音かもしれません。

私のささやかな願いは、現職の先生方には教育会の活動をより知っていただき参加してもらいたいということです。OBの先生方には相互親睦に加え、多忙な現職の先生方のために学校への協力や支援を少しでもお願いしたいと思っています。

今年度も、一人でも多くの皆さんが「私も教育会の会員でよかった」と思っていただけのような活動にしていきたいと思っています。松山市教育会のさらなる充実・発展のために会員の皆様のご理解と積極的な参加やご協力をお願いし、就任の挨拶といたします。

## 平成29年度 会務並びに事業報告

松山市教育会

## 1 会員構成

		平成29年度	平成28年度	増減	備考
正会員	現職	2,095名	2,117名	△22名	会費納入者数
	O B	896名	923名	△27名	
特別会員(O B)		24名	20名	4名	
準会員		2名	2名	0名	元会員家族
賛助会員(PTA等)		25名	24名	1名	
合計		3,042名	3,086名	△44名	

## 2 役員(任期2年の2年目)

会長	高橋 猛	副会長	平井 有年
副会長	青野 郁恵	監事	橋本 雅邦
副会長	砂田 孝夫	監事	牟田 智子
副会長	小坂 真也		

※理事・専門部員は省略

## 3 行事報告

月	日	行事名	概要
4	1	退職会員名簿作成申込書	前年度末退職会員から支部を通じて提出
4	25	会計監査	監査
4	25	役員会(会長・副会長)	事業報告・決算・活動方針・予算案等の審議
5	12	第1回 理事会・専門部会	総会資料の審議
5	16	総会役員打合せ会	総会運営の審議
5	20	定期総会	事業報告・決算・活動方針・予算・役員選出(全議案原案通り可決)
5	20	会費集金開始	納入期限 7月7日
5	26	第2回 理事会・専門部会	部編成・活動計画・支部長会資料審議
7	7	第1回 支部長・事務局長会	専門部の活動計画
7	28	教育講座①	道德教育(山岡 健二 先生)
8	7	教育講座②	教育相談(宇都宮由起 先生) ※台風のため中止
8	17	日連教長崎大会	～8月18日(長崎プリックホール)
8	24	支部活動費支給	～9月8日
8	29	高齢者慶祝記念品配布	～9月18日 支部長(事務局長)を通じて本人の元へ
9	5	教育功労者推薦委員会	推薦者審議
9	8	第3回 理事会・専門部会	教育功労者選考、まつやま教育フォーラム等運営審議
9	29	第2回 支部長会	夏季行事報告・教育功労者推薦の件、懇親会
11	5	えひめ教育の日推進大会	エスポワール愛媛文教会館で開催
11	11	まつやま教育フォーラム29	講演「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉の楽しみ方」講師 田内 宏幸 氏
11	21	役員会	本年度事業の反省と来年度事業の方向付け
1	6	教育を語る会	講演「オーロラの大地から」自然写真家 松本 紀生 氏(市教研と共催)
1	21	松山市青少年育成市民大会	松山市教育会に10名の参加要請
2	2	第4回 理事会	本年度の反省と来年度の計画
2	16	第3回 支部長会	本年度の反省と来年度の計画

## 4 主要行事及び専門部活動

## (1) 「まつやま教育フォーラム29」

11月11日(土曜日)「えひめ教育の日」関連行事

ア 開会式 報賞者(10名)

イ 講演会 演題「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉の楽しみ方」参加者 110名  
講師 道後温泉コンソーシアム  
副館長 田内 宏幸 氏

ウ 懇親会 参加者45名(内、高齢慶祝者6名出席)

## (2) 調査研究部

ア 教育講座

## ① 「道德教育講座」

7月28日(金曜日) 43名 出席

講師 県総合教育センター 山岡 健二 先生

## ② 「教育相談講座」

8月7日(月曜日) ※台風のため中止

講師 県総合教育センター 宇都宮由紀 先生

イ 会報「松山市教育会情報」

92号(6月1日発行) 93号(10月1日発行)

94号(2月1日発行)

ウ 「文教月報」執筆協力

## (3) 福利厚生部

ア 文化講座

(ア) 俳句交換会 毎月 講師 吉田 晃先生  
12名 講師 近藤 良郷先生

(イ) ヨガ講座 月1回(第2土曜日午後)

15名 講師 藤本ヨガ学院の先生

(ウ) 川柳教室 月1回(第3水曜日)

16名 講師 栗田 忠士先生

(エ) 囲碁将棋教室 月1回(第1土曜日午後)

20名 将棋講師 大場 武志先生

(オ) 詩吟教室 月2回(月曜日午前)

10名 講師 伊賀上峰山先生

## イ 慶弔関係

## (ア) 高齢慶祝者

傘寿（本年度中に満80歳を迎えられた方）  
27名

白寿（本年度中に満99歳を迎えられた方）  
2名

## (イ) 教育功労者（平成28年度分）……総会にて表彰

県表彰 勝田 昇 氏（八坂）

山本 道國 氏（正岡）

市表彰 仁木 省三 氏（清水）

堀内 舜夫 氏（久米中）

平岡 洋子 氏（久米小）

菊池 準子 氏（浮穴小）

芳居 洋子 氏（雄新中）

(ウ) 報賞者（本会役員在任4年以上の退任者）  
……フォーラムにて表彰

OB会員 3名

現職会員 7名

## (エ) 現職表彰祝金該当者

文部科学大臣教育者表彰 1名

文部科学大臣優秀教職員表彰 2名

愛媛県優良教員表彰 8名

愛媛県教育選賞表彰 0名

## (オ) 会員物故者

会員 31名（含現職会員1名）

## (4) 対策部

ア 教育を語る会………1月6日（土曜日）

※ 市教研と共催で実施

講演 「オーロラの大地から」

講師 自然写真家 松本 紀生 氏

参加者 約200名

イ 松山市青少年健全育成市民大会参加



## 平成30年度 活動方針並びに事業計画

松山市教育会

### 1 活動方針

#### (1) 組織の活性化

- ・支部活動及び地域ブロック活動の充実・強化
- ・現職会員とOB会員との連帯提携の緊密化

- ・本支部間の連絡の緊密化
- ・新退職者及び未加入者の入会促進と賛助会員の勧誘による組織の充実・強化

#### (2) 会員の親和と厚生・研修活動の充実

- ・調査研修活動の充実
- ・広報活動の充実
- ・現職会員の研修活動への支援強化（「教育講座」の充実）
- ・会員相互の親和連携の推進

#### (3) 関係諸団体・地域社会との連携強化

- ・「えひめ教育の日」への参加協力と愛媛県教育会活動との連携
- ・青少年の健全育成活動と関係諸機関との連携
- ・公民館等の社会教育活動との連携
- ・学校教育活動への協力と支援

### 2 事業計画

#### (1) えひめ教育の日記念「まつやま教育フォーラム30」 11月10日（土曜日）

- ・開会式 開会式の中で、本会運営に貢献された役員の報賞を行う。
- ・講演会 教育講演会等（形式・内容等を検討中）
- ・懇親会 教育功労者・報賞者・高齢慶祝者の祝賀および会員の懇親を行う。

#### (2) 調査研究活動

- ・教育講座の開設 夏季休業中に2回程度
- ・松山市教育研究大会に対する援助・協力（第33回市教研大会）
- ・組織局（壮年・青年部）への研修補助
- ・日連教大会への参加（研修補助）

- ・会報「松山市教育会情報」の充実（年3回発行）

95号（6月1日発行）

96号（10月1日発行）

97号（2月1日発行）

- ・「文教月報」執筆協力

#### (3) 福利厚生活動

- ・各種同好グループの活動に対する育成援助

##### ア 囲碁将棋教室

月1回（第1土曜日午後）

##### イ 俳句交換会

毎月 講師 吉田 晃先生

講師 近藤 良郷先生

##### ウ ヨガ講座

月1回（第2土曜日午後）

講師 藤本ヨガ学院

（脇坂 恭子先生）

##### エ 川柳教室

月1回（第3水曜日午後）

講師 栗田 忠士先生

##### オ 詩吟教室

月2回（月曜日午前）

講師 伊賀上峰山先生

- ・慶弔関係

##### ア 高齢慶祝者

傘寿（本年度中に満80歳になられる方）22名

白寿（本年度中に満99歳になられる方）1名

##### イ 物故者への弔慰（支部長と連携）

#### (4) 対策活動

- ・「教育を語る会」の企画・運営（市教研と共催）

- ・「松山市青少年育成市民会議」との連携・協力

- ・教育関係諸機関・地域社会との連絡提携とボランティア活動の推進

## 平成30年度 松山市教育会役員名簿

役職名	氏名	学校名・支部名	出身役職名	備考
会長	清水昇	味生第二	O B	
副会長	橋本雅邦	河野	O B	
副会長	砂田孝夫	八坂小	市教研会長	
副会長	小坂真也	新玉小	小校長会長	
副会長	忽那義博	久米中	中校長会長	新規

## OB

役職名	氏名	支部名	出身役職名	備考
1 区理事	山口雄三	味酒	O B	
2 区理事	伊賀上郁夫	桑原	O B	
3 区理事	関谷芳郎	さくら	O B	
4 区理事	築山勉	三津浜	O B	
5 区理事	三好龍二	久枝	O B	
6 区理事	平野忠司	湯山	O B	
7 区理事	明賀壽雄	石井北	O B	
8 区理事	西原司	小野	O B	
9 区理事	濱本昇	粟井	O B	

## 現職

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
理事	池田尊之	椿小	市教研副会長	
理事	久米倫典	三津浜中	市教研副会長	
理事	大久保礼子	垣生小	市教研副会長	新規
理事	玉井啓二	桑原小	研究部長	新規
理事	有森和明	北条南中	法制対策部長	
理事	高岡秀人	伊台小	情宣部長	新規
理事	井上英明	素鷲小	編集部長	新規
理事	梶本浩智	姫山小	福利厚生部長	新規
専門部員	吉弘祐治	姫山小	壮年部代表男	新規
専門部員	板倉千恵子	高浜小	壮年部代表女	新規
専門部員	豊田高広	北久米小	青年部代表	新規
専門部員	日浅雅文	久米中	事務職員部代表	新規
専門部員	片岡昌司	難波小	へき地・小規模校部代表	新規
専門部員	越智ひかる	内宮中	養護教員部代表	新規
専門部員	紺田幸子	たちばな小	栄養教員部代表	新規
専門部員	高月知代	北条小	小学校教頭会代表	新規
専門部員	田中祐二	津田中	中学校教頭会代表	

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
監事	道上修二	小野	O B	新規
監事	岩本正昭	北条北中	市教研監事	新規
事務局	清水謙三	愛媛文教会館内	市教研事務局	
	大田宏美			

## あちこち「寄り道」

松山市教育会姫山支部 高山佳子

ミニバイクで転び、左眼網膜剥離で入院したのが29歳の冬。飛んだり跳ねたりするこれまでの趣味は、スケート靴や社交ダンス衣装と共に押し入れの奥にしまいました。

湯築小学校に復職したのは春。桜の花びらが舞うように、子どもたちの遊ぶドッジボールが顔面に飛んでこないかとハラハラしました。

右眼にも穴が開くと、教員が続けられないかもしれないと思い、新玉小学校時代に「道」を探して始めたのが、「茶道」と「華道」でした。

茶道は、煎茶です。ぐい呑みほどの小さな茶碗に、さらさらのお茶を注ぎます。煎茶はおまごとのように道具が可愛らしく、何より気に入ったのが「お先に…」という言葉でした。お菓子やお茶をいただくときに、指先を揃え、軽く頭を下げ、お隣の方に言うのです。「結構なお点前でした。」とともに、この決まり文句をかしこまって言うのが面白く、正座で足をしびれさせながら続けてきたお稽古で、師範免許をいただきました。

生花の道も師範まで続けました。花鋏のパチンパチンと響く音。花や枝を見つめてはどうやって生けようかと悩む時間。剪るのがもったいないと思い、枝に残している花に蕾に葉。先生は、私の作品に思い切りよく鋏を入れ、大胆に切り落としていきます。それは見事で、美容院やエステに行ったかのように花が垢抜けていきます。和服の似合うおばあちゃん先生が、きりっとした侍に見えてきました。先生のスゴ技に惹かれ、これまた師範までいきました。

この二本の「道」から、私の趣味は、「寄り道」をするように広がっていきました。

お茶会に出るようになると、自分で着物が着てみたくなり、着付け教室に通い始めました。不器用なりに帯も結べてくると演歌歌手のような気分になり心が弾みました。こころで止めておけばよいのに、まねき人形のボディーを購入し、人に着せてあげるコースまで進みました。このときの師範看板が今のクローゼットに転がっています。

季節のお菓子。季節の茶碗。季節の花。季節の着物。四季が巡ると、豊かな気持ちになりました。「寄り道」は続きます。双葉小学校時代に誘っていただいたのが「俳句」でした。ここから子どもたちと過ごした時間が俳句になって残っていきました。素敵な季語をたくさん知りました。でも、「好きな季語は何ですか。」と問われたら、今も昔も「麦酒」「冷酒」と答えてしまいます。

さくら小学校時代、子規さんの俳句を、大きな筆を持ち、書道家のように表現してみたいと思い始めました。ここからが「書道」です。退職時には、子規さんの俳句「桜日記三月尽と書き納む」を全紙に書きました。卒業生の共同作品「卒業五七五」とともに、教員生活最後のよい思い出ができました。

こうして振り返ってみると、よくぞまあ、趣味にかける時間とお金があったものだと思います。これが現職の力なのかもしれません。しかし、年金が待ち遠しくなった今も、やりたいことが、ふつふつと湧いてきます。昭和の出来事であった「網膜剥離」は、人生の「寄り道」の幕開けだったのかもしれません。



子規の「俳句書」

## 文化講座紹介

—二十九年度会員の作品—

## ●俳句

老母と行く補聴器センター日脚伸ぶ

池田 本庄

喧嘩した子等の涙に若葉風

泉 ふたば

三世代集う館に杵の音

高月 知代

靴底に花屑つけし式準備

乗松 恵理子

蠅叩き持ちて悪女の貌となる

姫野 だるま

首筋になじむパールや春隣

松本 豊香

若竹の映える聖寺一遍像

宮田 頼行

菜の花に空の傾く橋袂

三好 靖子

風鈴や陶器の里の昼下がり

森田 章夫

行き止まる町に桜の転車場

晃

## ブロック紹介

## 第8ブロック 白濁 康隆

第8ブロックは、久米・小野・北久米・福音・窪田の小学校5校と、久米・小野中学校の2校、計7校からなる地域である。東南の四国山脈には霊峰石鎚を望み、のどかな田園に囲まれた、静かで学習環境に恵まれた地域で、来住廃寺や高井の里のていれぎ等々、自然豊かで歴史的な文化財の多いブロックでもある。

年間の活動としては、各支部とも年1回の総会が開かれ、行事報告とともに会計報告や役員改選が行われ、その後、情報交換を兼ねた懇親会も開催され、楽しく盛り上がったことが報告されている。

第8ブロックがまとまって行う活動に「情報交換会及び懇親会」がある。東道後温泉郷である本ブロックは、「そらともし」「鷹ノ子温泉」「久米の癒」など大型温泉施設を利用できる場所を使って毎年11月に開催している。昨年のこの会で、7校区支部それぞれの活動報告があった。ある支部では、地元の史跡巡りを行い、見識を深めるとともに親睦を深める活動をしている。今までに久米校区や城北地区、興居島方面の史跡巡りを行ってきたそうである。また、情報交換の中で話題に上がったことは、個人的な活動として、現職の先生方の指導技能向上のため、夏期研修会で絵手紙や習字等の美術作品の評価の仕方を研修する活動のサポートを行ったり、学校の木々の剪定を自発的に行ったりしている会員方の存在である。今後はこれらの積極的な活動が校区支部や個人だけでなく、ブロック全体に広がっていくことができれば良いと思っている。

今回も終始、和やかな雰囲気の中で、楽しく充実した時間であった。しかし一方で、近年の会員数減少に伴い、ブロック活動への意欲的な参加や企画運営自体が困難な状況であるという実情がどこか心にひっかかっている。だからこそ、来年度にはまた新しい会員を迎え、今回以上の人数で、より親睦を深め、より地域や学校に貢献できるような活動につながる「情報交換会及び懇親会」でありたい。その具体的な方策を考えていきたいと思っている。